

**●京都府からの2点指摘あり**

①会計決算の繰越金の記載違い ②理事1名の記載漏れが指摘されました。これには会計実務の引継ぎ時のうっかりミスであることが発見されたので事態を説明して修正させていただきました。又理事の1名の欠落も追加訂正させていただきました、いずれも年度末のおびただしい事務処理におけるミスだったの再発防止に努めたいと思います。こうしたミスは専従者が専門に担当できない人員不足から生じるのではないかと考えられます。以後お互いに注意しながら進めてゆきたいものです。

●京都府交響プロジェクト交付金の申請書類が有田さんの連日にわたる奮闘で2020年度の実績を整えるところまでこぎつけていただきました。もう一步で書類づくりは出来上がると簡単に誰でも作成可能に見えますが、起案から考えなければなりませんし、三か年計画などという関連を考慮しなければならない複雑さもあって簡単に作れない代物です。有田さんはこういったことに努力されて大変困難な作業をこなしていただきました。やっとここまで到達していただきました。勤務地が宇治市内にありますので、申請書類の提出は24日の出勤前に届け出てもらうことにしています。いずれにしても約300万円の総額になるイベント予算なので里山の会としては何としても交付がされるように心から期待するものです。

●同じく京都府交響プロジェクト交付金のうち2020年度の市町村振興協会分の交付金1094000円が6月22日に里山の会の口座に振り込まれました。これで2020年に受け取る各種交付金はすべて受け取ることができました。京都大学からの中聖牛の受注分、近畿建設協会の交付金、国交省近畿地方整備局の受注作業分、そして交響プロジェクト交付金・京都府と市町村振興協会の分が口座にすべて振り込まれました。これで財政の確率も一安心で2021年度の活動も保証されたことになりましたことをご報告します。

●蜂蜜と玉ねぎのご紹介をしたところ、翌日の17日早くも購入希望のメールが入ってきました。特に蜂蜜は純度100%の製品で自信を持って里山の会がお勧めできる製品です。これまでは数人のみなさんが希望されるのでやむなくおすそ分けしてきた自慢の品です。また玉ねぎも収穫祭にお越しになった方々にその場でお持ち帰りをしていただいた成果物です。そんなことで残りはそれほどありませんが御希望にそえられるところまでお分けさせていただきます。ご希望にそえられない場合もございますのでその節はご勘弁お願いします。

●先日17日に普賢寺小学校へ学習支援に行っていた方から、後日子供たちへ向けて書かれたお手紙の一部です。(実施日・2021年6月17日)

普賢寺小学校 4年生の皆さんへ

先日は私達、里山の会を呼んで下さってありがとうございました。

皆さんと普賢寺小学校のそばをいっしょに歩いて、皆さんの自然を見る目、勉強しようとする気持ちに感心しました。いっしょに勉強できてとても楽しかったです。この間もお話ししましたが、「普賢寺地区は京田辺市の宝物」と言われるほど、自然豊かで山や田んぼ、畑なども多く、おいしいお米や野菜も作られていて、貴重な鳥や昆虫など、それに今はとても少なくなっている稀少種の植物も多く、私達里山の会でも大切にしていきたいと思っている場所なのです。しかし、この地域はだんだん過疎になってきています。子供たちも少なくなっているのに、この学校はこんなにも

元気な4年生が16名も学んでいられてとてもすばらしいと思いました。地域外からこの学校に通われているお友達も多いようです。皆さんのお父さん、お母さんもすばらしいと思います。なぜなら地域の学校なら集団登校してくれて送り迎えの手間もかからないのに、わざわざ皆さんを学校まで送り迎えされているのですからね。皆さんは幸せです。お父さん、お母さん、それにこの学校の先生方にも感謝してほしいと思います。これからもこの学校の良さをあらためて、認識して、5年生、6年生になっても頑張ってください。またお会いしましょうね。

伊藤千恵子



●京都大学の竹門康弘生から里山の会へ連絡がきましたので皆さんにお伝えします  
河川生態学術研究会 木津川Gの皆様 竹門です

木津川の伝統河川工法研究ではお世話になっております。本研究については淀川河川事務所との契約が先週に完了したので今週から予算執行が可能となりました。

さて、今年には河川生態学術研究会木津川Gの現地視察と研究報告があります。全国の委員の日程調整の結果、10月3日(日)に木津川の現地視察会 10月4日(月)に木津川の研究会報告会が開催されることになりました。両日のプログラム詳細につきましては、これからリバフロの内藤さんと電話で打ち合わせをして、以下のようにすすめることを確認いたしました。

つきましては、まずは10月3日(日)と10月4日(月)の日程確保をよろしくお願いいたします。

また、添付書類の現地視察ルート案は、前回の木曾川のパターンを機械的にあてはめたものにすぎません。木津川における、現地説明の手順、発表者、方法、時間割、報告会プログラムなどについては、これから皆様とご相談して具体化していきことになります。

とりあえずは竹門が添付書類をベースにした両日プログラムのたたき台を今週中に作成して皆様のご意見を伺うことにいたしますので、その節はご対応のほどよろしくお願いいたします。

また、全関係者の皆様には、10月3日現地視察の際の説明役や、10月4日報告会の発表については今後内容のご検討をよろしくお願いいたします。

#### ●里山農園からの連絡

6月26日(土) 午前9時30分 里山農園の一斉草刈り実行 小雨決行

6月30日(水) 午後1時30分 植樹祭 ゲンジやオオムラサキに優しい森づくり

7月3日(土) 10時から ジャガイモの収穫祭 その日に持ち帰りも可能

いずれも参加者募集しています

参加申し込みは里山の会かへメールで御願います 参加費は無料 持ち帰りは有料です